

東京都の医療費等のデータ分析の方向性（案）

東京都医療費適正化計画の策定

- 数値目標等の設定
- 目標達成のため取り組むべき施策

東京都の医療費や都民の健康状態、特定健康診査等の実施状況等の現状や地域特性等を的確に把握し、計画に反映する。

医療費適正化基本方針

【調査・分析の視点】

- 医療費が伸びている要因を分析するため、高齢者の医療費を中心に全国平均値等と比較、全国的な位置付けを把握、医療費や伸びが低い都道府県や近県との違い、原因等を分析
- 保険者等所在地、医療機関所在地、住民ごとの医療費の実績と動向を分析

【必要なデータの把握】

- 国保事業年報等の性別、年齢別及び疾患別の受診件数、受診日数、医療費
- 医療機関の病床数の状況、保険者が実施する特定健康診査等の実施状況
- 国からデータを提供
 - ・ 主要疾患の受診率、一人当たり日数、一日当たり点数、都道府県別、二次医療圏別、年齢階級別、男女別のデータ
 - ・ 保険者種別ごとの特定健康診査等の実施状況のデータ等

分析に活用可能な医療費等のデータ

- 入院外医療費データ(社保・国保等別、都道府県別、二次医療圏別、性別、年齢階級別)
 - ・ 54疾患別医療費分析(総医療費、患者数、一人当たり医療費、受療率、一日当たり診療費等)
 - ・ 患者受療行動の地域差
初再診料、時間外・休日・深夜等の加算、血液、CT、MRI 撮影等検査等の算定状況(人数、回数、医療費)
 - ・ 重複、頻回受診の状況(医療機関数別、受診回数別の人数、医療費)
 - ・ 重複投与、複数種類医薬品(医療機関数別、処方薬剤種類数別の人数、薬剤費)
- 後発医薬品の数量シェア、切替効果額(都道府県別、保険者種別)
- 特定健康診査・特定保健指導実施状況
 - ・ 都道府県別、性別、年齢階級別、受診者数、特定保健指導対象者数、特定保健指導終了者数)
- 区市町村国保及び後期高齢者医療のレセプトデータ(28年11月診療分)

課題(分析の限界)

- 国提供データセット(社保・国保等)は入院外のみで入院のデータがない。
- 被用者保険の加入者住所別医療費等の状況は把握できない。

分析の方向性(案)

- 入院も含めた市町村国保及び後期高齢者医療のレセプトデータを中心に分析する。保険者により年齢構成は異なるが、年齢階層別の疾病の出現状況はおおむね同様であり、国保等の医療費を年齢階層別に分析し、都民の健康課題の抽出、地域特性等を把握する。

主な分析事項(案)

- **市町村国保及び後期高齢者医療の医療費分析**
 - ・ 地域別、性別、年齢階級別の医療費、一人当たり医療費、受療率、一日当たり医療費等
 - ・ 疾病大分類別の状況
 - ・ 生活習慣病関連、新生物、精神疾患等の疾病中分類別の状況
- **特定健康診査等の実施状況**
 - ・ 地域別、性別、年齢階級別の実施状況
- **後発医薬品の数量シェア、切替効果額の分析**
 - ・ 薬効別、疾患別の状況
- **重複投与、複数種類医薬品投与患者の分析**
 - ・ 性別、年齢階級別の状況

◆ 住民の健康保持の推進に係る取り組むべき施策の検討

- ・ 特定健康診査等保健指導等円滑な実施に向けた取組
- ・ 生活習慣病の重症化予防の取組
- ・ 健康増進に関する普及啓発等の取組
- ・ たばこ対策の普及啓発等の取組 等

◆ 医療の効率的な提供の推進に係る取り組むべき施策の検討

- ・ 後発医薬品の使用促進に向けた取組
- ・ 保険者等による重複投薬の是正に向けた取組
- ・ 医療機関及び薬局と連携した服薬指導の確認及び使用禁忌の防止の取組 等